年末年始建設現場合同パトロールを実施

～無事故の歳末　明るい正月～

八重山労働基準監督署は、建設業労働災害防止協会沖縄支部八重山分会と合同で、年末年始官民合同建設現場安全パトロールを実施しました。

本年、八重山地区の建設業では、夏場に約１８年ぶりに死亡災害が発生するなど緊急事態となっていましたが、パトロール等の強化により、年後半は労働災害の発生は落ち着いている状況でした。

しかし、年末年始にかけて建設業の繁忙期を迎え工事量が増加することや技能労働者の不足に伴う災害発生要因が大きくなることから「建設業年末年始労働災害防止強調期間」の一環としてパトロールを実施しました。

建築現場では墜落防止対策に対する指導、土木現場では重機との接触災害、土砂崩壊に対する指導を重点的に行いました。

パトロール結果としては、依然として重篤な災害に直結する墜落防止対策に対する不備が多くの現場で見られたことから、経営者トップによる現場の巡視を行い、自社の現場では事故を発生させないとの意識を高揚させると伴に、リスクの発見とその改善を早期に行うことが求められています。

日 時　平成２６年１２月１５日（火）９：００～１２：００
場 所　石垣市内　建築現場　５　現場
　　土木現場　５　現場